

授業科目	アジア観光文化地理 II					実務家教員担当科目	-				
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	劉 明										
授業概要	地球規模の大交流時代の到来により、アジアの国と地域を中心に訪日外国旅行者が大幅に増加されている。「アジア観光文化地理II」では、映像（教育）を通して、学生たちに東アジア以外の国・地域の地域性や風土人情及び観光資源を認識・理解してもらうことを目標に、授業を進める。 また、海外旅行を通して観光文化地理を研究したいという学生のニーズにより、海外（アジア）旅行の情報提供や調査方法の指導も行う。さらに、グループディスカッションで学生同士の交流を行う。										
授業形態	講義					授業方法	グループディスカッションを通してアジア諸国の観光資源を認識する。				
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. アジア諸国の地域性や風土人情を把握することができる。 2. アジア諸国の観光資源を認識することができる。 3. 海外（アジア）旅行の情報を把握することができる。 4. 海外での観光文化地理の調査方法を把握することができる。 <p>示されている4つの到達目標を達成することができる。</p>										
理想的レベル	示されている4つの到達目標を達成できると同時に、習得した知識を研究や観光フィールドワークに反映させることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験											
小テスト											
レポート			50%								
発表（口頭、プレゼンテーション）			30%								
レポート外の提出物											
その他			20%				意見を発言してくれたり、積極的に質問・提案をしてくれたり、といったことが評価されます。				
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	T021809J

学習課題（予習・復習）		1回の学習目安 （時間）
予習・復習		4
授業計画		
第1回	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意を説明する。	
第2回	テーマ：フィリピンの観光文化地理 フィリピンの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	
第3回	テーマ：モンゴルの観光文化地理 モンゴルの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	
第4回	テーマ：ベトナムの観光文化地理 ベトナムの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	
第5回	テーマ：カンボジアの観光文化地理 カンボジアの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	
第6回	テーマ：ラオスの観光文化地理 ラオスの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	
第7回	テーマ：グループディスカッション・発表 グループディスカッションで学生同士の交流を行う。	
第8回	テーマ：シンガポールの観光文化地理 シンガポールの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	
第9回	テーマ：マレーシアの観光文化地理 マレーシアの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	
第10回	テーマ：タイの観光文化地理 タイの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	
第11回	テーマ：インドネシアの観光文化地理 インドネシアの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	
第12回	テーマ：インドの観光文化地理 インドの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	

第 13 回	テーマ：ミャンマーの観光文化地理 ミャンマーの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。
第 14 回	テーマ：グループディスカッション・発表 グループディスカッションで学生同士の交流を行う。
第 15 回	総括
テキスト	資料を配布する
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	『旅行業実務シリーズ 海外観光資源』（株）JTB 総合研究所編集発行
課題に対するフィードバックの方法	「成績講評」を提示する。
学生へのメッセージ・コメント	「アジア観光文化地理 II」を学ぶ意義を理解しておくこと。 ①アジアの国・地域に関する新聞記事をよく読むこと。 ②留学生との交流に励むこと。 ③少しでも長く勉強を続けること。 ④よく質問すること。